東京鶴丸会　会報　第２３号

はろばろと

http://www.tsurumaru.net/ 題字：内門亮子（24 回卒）

2020 年5月1日

【発　行】東京鶴丸会事務局
matsukubo.yushi@gmail.com
会長：松久保 勇志（35 回卒）
編集責任者：川﨑 優子（35 回卒）
武 未希子（39 回卒）

お問い合わせは
http://www.tsurumaru.net/form/form.html

皆様のサポートに深謝

任期最終年にコロナ危機に直面

会長・35 回卒　**松久保 勇志**

皆様、いかがお過ごしですか。

私事ではありますが、任期最終年の3年目となりました。ここまで活動できたのも会員の皆様のサポートのおかげかと思っております。 改めてお礼を申し上げます。

ところで、任期最後となる総会･懇親会は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止せざるを得なくなりました。皆様と集う機会が失われ、熱心に準備を進めてきた41回卒の方々の奮闘の成果をお見せできないのが残念です。しかし、この不測の事態に屈することなく、理事一同、任期の最後まで責務を果たして参りますので、引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。

さて、東京鶴丸会は言うまでもなく、前身の一中・一高女・夜間課程からの伝統を引き継いだ、鶴丸高校卒業生の強固な繋がりに支えられております。今後とも末永い継続と発展を目指して卒業生同士の交流が盛んになっていくことを切に願っております。

そして交流の一環として、就職活動セミナー「鶴ナビ」（詳細は4ページ）や、現役生による先輩の職場訪問「ＧＯ鶴セミナー」（詳細は3ページ）はもちろん、渋谷のおはら祭やゴルフコンペ、野球、剣道などのスポーツの集まり、合唱団などの文化活動と、会員相互の交流がますます活発に行なわれていることを、誠に喜ばしく感じています。これらを今後も長く続けていくことが、東京鶴丸会の発展に繋がるものと確信しています。

さらに、同窓生各位の円滑な交流を目的に新時代に向けて取り組んでいる「ありかたプロジェクト」も引き続き活動を続けております。具体的には、幹事学年が安心して懇親会の運営に携われるよう、年会費の維持や通年寄付口座の開設。世話人業務の負担削減。そして各回の世話人の方々を中心にご協力をお願いして、年会費納入会員の発掘を一層推し進めて参ります。引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

最後に、事態の1日も早い終息と皆様のご無事を心から願っております。

タテにもヨコにも繋がった
楽しめる会であり続けるために

「ありかたプロジェクト」

39 回卒　**髙田 伸裕**

理事会では、理事会運営業務、定例行事の運営の他に「東京鶴丸会の活動方針や、今後当会をより良い会にするために」などを検討するための「ありかたプロジェクト」という委員会を設けております。

現在、委員会内では、

❶財政の健全化（会費等収入でより円滑な運営ができる体制づくり）
❷理事会業務と幹事学年の活動業務の整理と効率化の検討
❸会員名簿管理方法の改善と作業軽減化の検討（WEBシステム／クラウド管理の検討）
❹総会・懇親会の集客と改善策（若年層の参加率アップの施策など）
❺WEBサイトやSNSの有効活用と、WEBサイトのリニューアルの検討
❻新総会懇親会会場の検討（2021年以降、TKPが大規模改修される予定のため）
❼年会費・懇親会費の検討（懇親会の相場感などの調査および会場移転時のシミュレーションなど）

などを協議しております。

東京鶴丸会会員は、一中・一高女・夜間課程の先輩方から70回卒まで約100世代にわたる大所帯です。この2、3年の懇親会後のアンケートではさまざまなご意見をいただいております。

東京鶴丸会が､タテにもヨコにも繋がった、多くの会員に楽しんでいただける会であり続けられるよう､「ありかたプロジェクト」委員会で今後も検討してまいります。

東京鶴丸会 最近の主な活動

2019年

4月
・会報第 22 号 発行
・新人オリエンテーション
（幹事学年 40 回卒）

5月
・渋谷・鹿児島おはら祭 出場

6月
・東京鶴丸会
総会・懇親会 開催

7月
・GO鶴セミナー
（在校生の会社訪問）実施

10 月
・鶴ナビ（大学生への就職ガイダンス）実施
・ゴルフ会 開催

12 月
・世話人会 開催
（幹事学年 41 回卒）

2020年

5 月
・会報第 23 号（本紙）発行

本紙記載の2020年度イベント日程は､新型コロナウイルス感染防止対策のため、変更となる可能性があります。最新情報は､下記の公式WEBサイト｢はろばろと｣などでご確認ください。

タイムリーな情報はこちらをクリック！

東京鶴丸会

東京鶴丸会公式 WEB サイト
「はろばろと」
http://www.tsurumaru.net/
さまざまな活動情報を掲載中

年会費のお支払いをお願いいたします

本紙発行などの
東京鶴丸会の活動費用は
皆様の年会費で賄われています

創立以来125年分の思いを音楽と映像で繋ぎました

第53回総会・懇親会「Rejoin」開催御礼

第53回総会・懇親会準備委員長・40回卒　黒崎 博史

おかげ様で、2019（令和元）年6月1日（土）の『第53回東京鶴丸会総会・懇親会』には600名を超える卒業生の皆様がご参加くださり、無事、盛会をおさめることができました。改めて、当日のご来場、また、同会へのご支援に厚く御礼申し上げます。

当日は、母校から月野校長、同窓会担当の宮脇先生、そして、鶴丸高校同窓会の山下会長、東理事、さらに、東海地区一鶴会の小森副会長、熊本一鶴会の小濱様にご臨席を賜りました。

また、多くの協賛企業の皆様に支えられ、懐かしい鹿児島の味を東京にいながらにして大いに楽しんでいただけたのではと思います。

懇親会では、この日のために結成された『Rejoinコンボバンド』（40回卒同期の小牧さん・大久保くん、53回卒後輩の吉峯勇二郎さん、59回卒の海江田紅さん）によるJAZZ演奏、62回卒平野太一朗さんが加わったスペシャルセッションに続き、この年デビュー30周年を迎えられた32回卒辛島美登里先輩の『サイレント・イヴ』を、鶴丸ミュージシャンがバックを務める特別なステージでお届けしました。辛島先輩は私たち40回卒が高校を卒業した年にデビューされたので、30年という月日が私たち自身の卒業以来の歩みともオーバーラップして感慨一入です。

途中、東京鶴丸連からは「渋谷・鹿児島おはら祭」での“グランプリ獲得”という嬉しい報告の他、同期の上牧瀬さんと、67回卒松田美春さんによる場内レポートで協賛ブースや幹事学年の物販コーナーを紹介。47回卒で俳優の迫田孝也さんからはビデオメッセージをいただきました。そして、元気いっぱいの新人による『蒼天翔る』、東京鶴丸会合唱団によるオンステージ、会場全体での『故郷（ふるさと）』の大合唱の後、鹿児島チームの目玉企画“復刻制服”とコラボしたプロモーションビデオを背景に、母校の創立から125年分の思いを込めた校歌斉唱で閉会となりました。

今回のテーマは「Rejoin ～時を超え繋がれ～」。

私たちは平成元年の卒業生です。母校を巣立ってからの30年はそのまま平成の歴史でした。そして、年号が令和に変わり、母校の創立125周年という節目の年に幹事を務めることとなった巡り合わせには、胸に迫る思いがあります。

振り返ると、32回卒の先輩方が幹事を務められたときにハッパをかけられ(もとい！集うきっかけをいただき)、そこからコツコツと同期のつながりを拡げ、総会・懇親会に向けて準備を続けてきました。素晴らしい仲間と共に8年間の思いを込めた特別な年の特別な総会・懇親会が、ご来場の皆様を繋ぐ特別な時間となったのであれば、幹事学年一同、これに勝る喜びはありません。どうもありがとうございました。

幹事学年の活動を通して培った鶴丸の絆を大切に、創立125周年を越えて、これからも続いていく毎年の総会・懇親会をゆっくり楽しみたいと思います。

お互いの進学先を初めて知って驚く新卒生も多数

新人オリエンは“渋谷でランチ”

40回卒　黒崎 博史

2019年4月20日（土）に『新人オリエンテーション』を開催しました。これは、鹿児島を離れ、関東に進学してきた卒業生を対象に毎年開催されるイベントで、母校を卒業したばかりの70回卒が29名、少し前に卒業した68～69回卒が23名、計52名もの新人が参加してくれました。また、年の近い学生スタッフも8名参加し、総勢97名の賑やかなイベントとなりました。

今回は例年から少し趣向を変え、レストランのワンフロアを借り切っての“ランチ会”を催しました。上京してまだ1カ月も経たない中、渋谷の繁華街にある会場まで迷わず来てくれるだろうか？　という心配をよそに、参加者全員、元気に集まり、滞りなくスタート。学生スタッフや先輩と楽しく歓談しつつ、新生活についてのアドバイスに耳を傾けていました。

母校の先生によると、新卒生の多くはお互いの進学先を知らないのだそうです。そのため、『新人オリエン』で初めて進学先を知って驚く様子が会場のあちこちで見かけられました。同学年と先輩後輩の絆が強まり、安心して勉学に励んでもらえたらと思います。

本会をサポートいただいた皆様、ありがとうございました。

メールアドレス登録にご協力を！

35回卒　西山 やよい

理事会では、新規入会登録や連絡先変更等、会員の皆様の情報を更新し、名簿を管理しています。既にご登録の方々の情報は、個別会員番号による管理のスムーズ化を図っており、今後は会員のメールアドレス取得をすすめ、Web経由で情報交換しやすくすることを構想に入れています。

毎年、各学年の世話人が会員情報のメンテナンスをしておりますので、メールアドレスを含めた正確な情報登録に、ご協力をお願いいたします。

後輩たちの“未来への一歩”のお手伝い

ＧＯ鶴セミナー

副会長・37 回卒　益田 和久

2019年度の『ＧＯ鶴セミナー』（先輩に学ぶ職場訪問）は、7月11日（木）に開催されました。その模様がテレビでも放映されたことから、ご覧になられた方もいらっしゃるでしょう。これは、母校後輩の現役生が、修学旅行の班単位活動において「働くこと・学ぶこと」の意義を理解する「キャリア体験学習」です。

生徒は、職場訪問終了後に各班でまとめを行ない、校内での発表会を経て、さらに学びを深めます。「気づきや学びの多い修学旅行となった」「密度の濃い内容で、あっという間に時間が過ぎた」「将来のために、残りの学校生活をどう過ごすかを考えるきっかけになった」等の感想が数多く寄せられました。

これもすべて、受入先の先輩方がさまざまな工夫や配慮をしてくださっているおかげです。2019年度は、46の企業・団体等の皆様にご協力いただきました。この活動はスタートから十数年の時を経ており、かつて『ＧＯ鶴セミナー』を体験した卒業生が、今度は受入先として協力してくださるようになり、大変嬉しく思っております。

「職場受入を検討してみよう、誰かに勧めてみよう」という方がいらっしゃいましたら、東京鶴丸会事務局までご連絡をお待ちしております。皆様、ご支援のほどよろしくお願いします。

★お問い合わせは

9 年ぶり 2 回目のグランプリ！

渋谷・鹿児島おはら祭 東京鶴丸連

37 回卒　谷口 陽一

爽やかに晴れ渡った青空の下、さる2019年5月19日（日）に「第22回渋谷・鹿児島おはら祭」が盛大に開催され、67連・2,600名の踊り手と沿道に詰めかけた2万名以上の観客により、渋谷の街が鹿児島一色に染められました。

東京鶴丸連は総勢115名で参加。見事なチームワークで一体となった優雅な鶴の舞は他の踊り連を圧倒し、見事に9年ぶり2回目のグランプリの栄冠に輝きました！

一昨年の12月に、これまで東京鶴丸連の発展に多大なるご尽力をいただいてきた副連長の栄木ひとみさんの突然の逝去という深い悲しみを乗り越えての今回のグランプリ。発表の瞬間は皆涙して抱き合いました。渋谷の交差点での歓喜の力強い校歌斉唱は、きっと天国まで届いたことでしょう。

2020年5月17日（日）に予定されていた次回「第23回渋谷・おはら祭」は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止となりました。今後も皆様のご支援をお願いします。

★お問い合わせは
ope_ttsururen@googlegroups.com

33 回卒井上俊彦さんが初優勝！

東京鶴丸会ゴルフ会

36 回卒　児島 誠

前回（第11回）は2019年10月13日（日）に千葉県茂原市の真名カントリークラブ真名コースにて開催され、32名の方に参加いただきました。また、恒例の前夜祭にも多数の方に参加いただきました。

優勝は井上俊彦さん（33回卒）、準優勝は楠本俊二さん（24回卒）、田中和義さん（26回卒）でした。井上さんは初優勝となります。

次回は、2020年10月31日（土）に引き続き真名での開催を予定しています。皆様奮ってご参加ください。とくに、若手OB・OGの参加をお待ちしております。

また、昨年6月には群馬県の太田双葉カントリークラブにて甲南、玉龍、中央、川内高校の卒業生との第4回交流戦が行なわれ、鶴丸からも8名が参加しました。同郷の親睦イベントとしてこちらも定着させていきます。なお、2020年6月13日（土）に予定されていた次回の交流戦は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止となりました。

★お問い合わせは
tokyo.tsurumaru.golf@gmail.com

今年は合唱祭デビューを目指します

東京鶴丸会合唱団

38 回卒　待鳥 愛

昨年は総会・懇親会でのステージ以外にも活動の場を広げる一年となりました。

総会･懇親会では、1970年代に『ステージ101』というTV番組でヒットし、合唱曲の定番となった『怪獣のバラード』と『翼をください』、『故郷（ふるさと）』を歌いました。準備をいただいた40回卒の幹事学年の皆様には大変お世話になりました。

4月21日には、鹿児島の宝山ホールでの創立125周年記念演奏会にも参加しました。一昨年秋より練習を始めたものの、当日に参加できるのは多くても10名と思っておりましたが、結果的に練習メンバーの半数近くにおよぶ23名が、総勢150名の大合唱団に加わることができ、感動しました。「帰省して母校の音楽室で練習してきました！」「東京の練習に参加しに来ました！」と人の交流も活性化しています。

卒業生であればどなたでも大丈夫です。ご参加お待ちしております。なお、練習は現在休止しており、新型コロナウイルス流行が落ち着き次第、再開予定です。

★お問い合わせは
tsuru.chorus@gmail.com

おかげ様で健全運営が定着しています

財政状況のご報告

副会長・35 回卒　青屋 達雄

東京鶴丸会の財政状態につきましてご報告申し上げます。

第53回の会計期間（2018年8月1日～2019年7月31日）において、本部会計ベースでは、年会費をはじめとする収入にて経常費用を賄うことができております。会員の皆様に年会費の値上げをお願いして3年目ですが、健全運営の定着に改めて感謝申し上げます。

総会・懇親会当日の運営を中心に幹事学年に管理をお願いした幹事学年会計においては、費用面の厳格なコントロールのもとで、会費収入に加え広告収入や企画販売による収入も寄与し、60万円余りの黒字化を達成していただきました。その結果、先輩諸氏が積み重ねてきてくださった繰越金は前期末時点で800万円を超える水準となっています。

今後は、引き続き本部会計の経常的な収支管理に努め、幹事学年会計運営にも適切なアドバイスを行ないつつ、東京鶴丸会の名簿やホームページの管理運営をはじめ、会の永続運営に資する支出を厳選し前述の繰越金を有効に活用することを、理事会において慎重かつ前向きに検討してまいります。経過につきましては総会等の機会でご報告いたします。

また、寄付金も引き続き通年で受け付けておりますので、よろしくお願いいたします。

第 53 回東京鶴丸会会計報告
2018（平成 30）年 8 月 1 日～ 2019（令和元）年 7 月 31 日

支出		収入	
摘要	金額（円）	摘要	金額（円）
		前年度繰越	7,800,561
本部会計（会報・同窓会総会案内・本部活動に関するもの）			
第 53 回総会 案内印刷費	441,548	年会費	1,764,700
〃 通信費	487,076	寄付金	26,500
〃 世話人会関連費	77,676	雑収入	2,500
〃 振替手数料他	165,058	受取利息	46
「はろばろと」印刷費	50,112		
活動費（おはら祭・ゴルフコンペ・合唱団）	100,000		
鹿児島総会関連費	129,036		
ホームページ作成、運営費	35,316		
理事会運営費	42,690		
鶴ナビ・GO 鶴セミナー運営費	42,320		
通信費・振込手数料他	4,591		
計	1,575,423	計	9,594,307
		本部会計収支差額 ①	8,018,884
幹事学年会計（同窓会総会に関するもの）			
第 53 回総会 会場費	3,659,347	第 53 回総会 会費	3,923,000
〃 運営費	1,323,871	〃 祝金・寄付金	113,132
〃 プログラム・企画制作費	111,161	〃 広告収入	1,345,000
〃 幹事会等諸費	1,281,583	〃 企画販売	1,791,410
〃 新卒生親睦会費	182,684	〃 受取利息	12
計	6,558,646	計	7,172,554
		幹事学年会計収支差額 ②	613,908
		次年度繰越（①＋②）	8,632,792

母校に現役生の活躍ぶりをお尋ねしました

35 回卒　川﨑 優子

全国大会出場以上の活躍はご覧のとおり。九州大会には、これらの部の他にラグビー部や登山部も出場しています。また、インターハイでは、荻田巧君が開会式挨拶の大役を務めました。

2019年度全国大会出場

※敬称略／2020年1月末現在

【文芸部】第43回全国高等学校総合文化祭［散文部門］参加 本坊もも／同［詩部門］参加 満留佳奈

【書道部】第24回全日本高校・大学生書道展［仮名の部］優秀賞 鶴薗暉子・本田穂ノ美／第43回全国高等学校総合文化祭［書道部門］文化連盟賞 宮﨑京花

【放送部】第65回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト［アナウンス部門］準々決勝進出 宮永理央・淺田和香／同［朗読部門］準々決勝進出 濱田華玲

【百人一首部】第41回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会［団体戦］ベスト16／同［個人戦］B級＝優勝 坂口佳穂・4位：尾辻菜々子、C級＝優勝 佐伯凜・3位 田中智彩・4位 原口悠介、D級＝優勝 米永春音／第43回全国高等学校総合文化祭（小倉百人一首かるた部門）［団体戦］県選抜8名中の5名として出場

【卓球部】第47回全国高等学校選抜卓球大会［女子シングルス］出場予定 野田利真

【陸上部】第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会［棒高跳］出場 有馬康平

寄付専用口座

振 込 先：ゆうちょ銀行
店　　名：〇一九店（ゼロイチキュウ店）
店　　番：０１９
預金種目：当座預金
口座番号：０３２４２２３
口 座 名：東京鶴丸会理事会

個人で振込みの際には「卒回と氏名」を、有志・団体で振込みの際には「代表者の卒回と氏名」をご記載・ご入力ください（記載・入力例　39 ツルマルタロウ）。

なお、ご入金に際しては、下記宛て先にメールでお知らせください。また、本件に関するご質問、ご意見等も、下記宛て先にメールにてお願いいたします。

★入金のご連絡やお問い合わせは
donation868610@gmail.com

大学生・大学院生の皆様、ご参加ください

就職活動支援セミナー「鶴ナビ」

副会長・36 回卒　下福 聡

「For Others」の精神で先輩方が学生の就職活動を支援するセミナーイベント「鶴ナビ」を2019年10月26日（土）に開催し、約20名の学生と約30名の社会人にご参加いただきました。

はじめに、38回卒の角倉さんより「最新の新卒採用の状況や対策」について、34回卒の垂水さんより「適職を知るためのパーソナリティ6分類」について、ご講演いただきました。続いて、「就職先を決めるということや働くということに対する考え方」について、20代の社会人数名によるパネルディスカッションを実施しました。その後、学生2名と社会人3名でグループを作って座談会を行ない、数回のグループ替えによってさまざまな年代・業種やパーソナリティの社会人とコミュニケーションを深めました。

参加いただいた学生からは「現在の就職の状況がよくわかった」「先輩方の体験談を聞いて、さまざまな道があると改めて感じた」「先輩と直接コミュニケーションをとることで、リアルな現状を知ることができた」「自分の話に対して『なぜ？』と質問していただいたおかげで、自己覚知を改めてできた」などのコメントが寄せられ、とても満足度の高い評価をいただきました。また、まだ就活が始まっていない大学1・2年生の参加も多く、「来年も参加したい」「同級生や後輩にも勧めたい」といった声もいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

2009年から始まり、これまで12回開催してきた「鶴ナビ」は、次回2020年10月3日（土）に開催予定です。8月頃に東京鶴丸会のホームページ等を通じて詳細をご案内します。学生はもちろん社会人の皆様も、積極的なご参加をお待ちしております。

★参加申込・お問い合わせは
tokyo.tsuru.navi@gmail.com